

2010年度 決算説明会資料

2011年5月16日

株式会社フジ・メディア・ホールディングス

本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、目標、予想数値など、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

■ 連結営業利益263億円 全セグメントで業績改善 大幅増益

◆フジテレビ 増収・大幅増益

- ◆3月は震災の影響があったが、通期で放送収入は増収
- ◆7期連続 年度視聴率三冠王
- ◆制作費は計画的なコントロールを継続、前期比で削減
- ◆映画事業はヒット作がつづき、歴代最高の売上を記録

◆映像音楽事業 大幅増益

◆ポニーキャニオン

映画「ワンピース」、「踊る大捜査線3」、アニメ「けいおん」のDVDがヒット
音楽もaikoの作品が大きく貢献し、増収増益

◆生活情報事業が黒字化

- ◆ディノス、セシール 震災の影響を受けながらも増益

業績概要

(単位: 百万円)

連結	第4四半期			通期		
	11年 1月～3月	10年 1月～3月	増減率	2010年度	2009年度	増減率
売上高	141,749	148,461	▲4.5%	589,671	583,843	1.0%
営業利益	2,679	3,344	▲19.9%	26,351	9,279	184.0%
経常利益	2,394	3,108	▲23.0%	29,460	12,060	144.3%
当期純利益	▲3,581	938	—	10,002	7,459	34.1%

フジテレビ	第4四半期			通期		
	11年 1月～3月	10年 1月～3月	増減率	2010年度	2009年度	増減率
売上高	77,903	81,895	▲4.9%	328,264	327,359	0.3%
営業利益	4,143	3,750	10.5%	22,241	9,884	125.0%
経常利益	4,172	3,814	9.4%	22,610	10,224	121.1%
当期純利益	2,149	2,372	▲9.4%	12,103	6,392	89.3%

■ 放送事業

◆ 広告収入への影響

◆ フジテレビ、ニッポン放送

- ・地震発生直後から報道特別番組を編成
- ・3月14日早朝まで60時間以上にわたりCMの放送を取りやめ

◆ 非広告収入への影響

◆ イベント事業

- ・シルク・ドゥ・ソレイユ「KOOZA」 39回の公演を中止（3月11日～4月9日）

◆ 映画事業

- ・映画「SP革命篇」（3月12日公開） 公開直後の上映スクリーン数が大幅減少

※今上期の業績に影響

◆ MD事業

- ・台場地区への観光客の減少と、グッズ販売店舗の休業等により売上減少

■ 生活情報事業

◆ ディノス・セシール

◆ カタログ用紙の不足により、3月発行の夏向けカタログの発送延期、部数減

◆ ディノス テレビ通販を中止

■ 映像音楽事業

◆ ポニーキャニオン

◆ メーカーにおける商品の製造工場、物流拠点の被災により売上減少

※主に今上期の業績に影響

■ 広告事業

◆ クオラス

◆ 報道特別番組編成に伴うCM放送の中止などにより減収

セグメント別業績【通期】

(単位: 百万円)

	売上高			営業利益		
	2010年度	2009年度	増減率	2010年度	2009年度	増減率
放送	347,456	348,076	▲0.2%	22,145	9,992	121.6%
制作	44,634	43,939	1.6%	1,826	1,517	20.4%
映像音楽	66,932	62,375	7.3%	2,768	427	547.2%
生活情報	127,411	119,855	6.3%	472	▲139	-
広告	42,161	46,149	▲8.6%	▲80	▲291	-
その他	27,333	29,490	▲7.3%	685	▲29	-
調整額	▲66,257	▲66,043	-	▲1,466	▲2,198	-
連結	589,671	583,843	1.0%	26,351	9,279	184.0%

《主な連結会社》

放送	フジテレビジョン、ニッポン放送	生活情報	ディノス、セシール、サンケイリビング新聞社
制作	共同テレビジョン、フジクリエイティブコーポレーション、フジアール	広告	クオラス、協同広告
映像音楽	ポニーキャニオン、フジパシフィック音楽出版	その他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト

セグメント別業績【第4四半期】

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	2011年 1月～3月	2010年 1月～3月	増減率	2011年 1月～3月	2010年 1月～3月	増減率
放送	82,669	86,193	▲4.1%	4,053	3,678	10.2%
制作	10,810	11,766	▲8.1%	288	259	11.1%
映像音楽	18,801	16,184	16.2%	210	526	▲59.9%
生活情報	28,944	31,309	▲7.6%	▲1,599	▲741	-
広告	10,682	12,584	▲15.1%	▲2	▲73	-
その他	7,107	7,623	▲6.8%	237	▲82	-
調整額	▲17,264	▲17,201	-	▲508	▲222	-
連結	141,749	148,461	▲4.5%	2,679	3,344	▲19.9%

■ 震災の影響により減収減益を予想

◆ フジテレビ

◆ 広告収入 : 上期は厳しく見込む 下期に向けて徐々に持ち直すと想定

◆ その他事業: 個人消費の停滞など厳しい事業環境を見込む

デジタル事業では、オンデマンド配信・ゲームなどの本格的な収益への寄与を期待

◆ 番組制作費をはじめ費用を厳しくコントロール

◆ 映像音楽事業・生活情報事業

消費需要は厳しいと想定するが、下期は回復へ向かうと見込む

■ 連結全体で費用の効率的な運用を促進

■ BSフジを完全子会社化(4月)

成長著しいBS放送事業の連結業績への貢献を期待

2011年度 業績予想

(単位: 百万円)

連結	上期予想	前期比	下期予想	前期比	通期予想	前期比
売上高	271,900	▲7.3%	293,000	▲1.1%	564,900	▲4.2%
営業利益	2,000	▲82.8%	11,100	▲24.5%	13,100	▲50.3%
経常利益	3,400	▲75.9%	11,900	▲22.6%	15,300	▲48.1%
当期純利益	300	▲95.1%	5,300	35.2%	5,600	▲44.0%

(単位: 百万円)

フジテレビ	上期予想	前期比	下期予想	前期比	通期予想	前期比
売上高	153,700	▲8.0%	159,300	▲1.2%	313,000	▲4.7%
営業利益	3,200	▲66.5%	8,600	▲32.3%	11,800	▲46.9%
経常利益	3,300	▲66.4%	8,700	▲32.0%	12,000	▲46.9%
当期純利益	1,500	▲72.0%	4,300	▲36.3%	5,800	▲52.1%

	上期予想	下期予想	通期予想
ネットタイム	▲3.9%	▲2.7%	▲3.3%
ローカルタイム	▲4.5%	▲18.8%	▲11.6%
スポット	▲14.6%	▲1.5%	▲7.8%
放送収入	▲8.9%	▲3.1%	▲6.0%

(前期比)

セグメント別業績予想【上期】

(単位: 億円)

	売上高				営業利益			
	2011年度 上期予想	2010年度 上期	増減額	増減率	2011年度 上期予想	2010年度 上期	増減額	増減率
放送	1,642	1,763	▲121	▲6.9%	36	96	▲60	▲62.9%
制作	210	224	▲14	▲6.3%	5	8	▲3	▲43.1%
映像音楽	266	314	▲48	▲15.4%	▲1	14	▲15	-
生活情報	603	614	▲11	▲1.9%	▲10	0	▲10	-
広告	188	210	▲22	▲10.8%	▲1	0	0	-
その他	122	134	▲12	▲9.2%	0	3	▲3	-
調整額	▲312	▲329	-	-	▲9	▲6	-	-
連結	2,719	2,932	▲213	▲7.3%	20	116	▲96	▲82.8%

《主な連結会社》 2011年4月～

放送	フジテレビジョン、ニッポン放送、BSフジ
制作	共同テレビジョン、フジクリエイティブコーポレーション、フジアール
映像音楽	ポニーキャニオン、フジパシフィック音楽出版

生活情報	ディノス、セシール、サンケイリビング新聞社
広告	クオラス、協同広告
その他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト

セグメント別業績予想 【通期】

(単位: 億円)

	売上高				営業利益			
	2011年度 通期予想	2010年度 通期	増減額	増減率	2011年度 通期予想	2010年度 通期	増減額	増減率
放送	3,342	3,474	▲132	▲3.8 %	122	221	▲99	▲44.9%
制作	429	446	▲17	▲3.9%	14	18	▲4	▲23.4%
映像音楽	565	669	▲104	▲15.6%	10	27	▲17	▲63.9%
生活情報	1,293	1,274	18	1.5%	0	4	▲4	-
広告	388	421	▲33	▲8.0%	0	0	0	-
その他	269	273	▲4	▲1.6%	3	6	▲3	▲56.2%
調整額	▲637	▲662	-	-	▲18	▲14	-	-
連結	5,649	5,896	▲247	▲ 4.2%	131	263	▲132	▲50.3%

フジテレビの業績

フジテレビ 売上高・営業費用内訳

(単位:百万円)

	第4四半期			通期		
	2011年 1月～3月	2010年 1月～3月	増減率	2010年度	2009年度	増減率
放送事業収入	68,035	68,217	▲0.3%	278,490	276,758	0.6%
放送収入	60,122	59,908	0.4%	246,810	244,406	1.0%
その他放送事業収入	7,912	8,308	▲4.8%	31,680	32,352	▲2.1%
その他事業収入	9,867	13,678	▲27.9%	49,774	50,601	▲1.6%
売上高合計	77,903	81,895	▲4.9%	328,264	327,359	0.3%
放送事業原価 ※	43,378	47,133	▲8.0%	179,872	191,104	▲5.9%
その他事業原価 ※	9,254	10,000	▲7.5%	42,600	42,540	0.1%
販売費・一般管理費	21,126	21,010	0.6%	83,550	83,829	▲0.3%
営業利益	4,143	3,750	10.5%	22,241	9,884	125.0%

※ 2010年度は放送事業原価からその他事業原価への費用の移行があります(通期で約25億円)

■ 高い視聴率と強い広告需要を背景に年度を通して増収

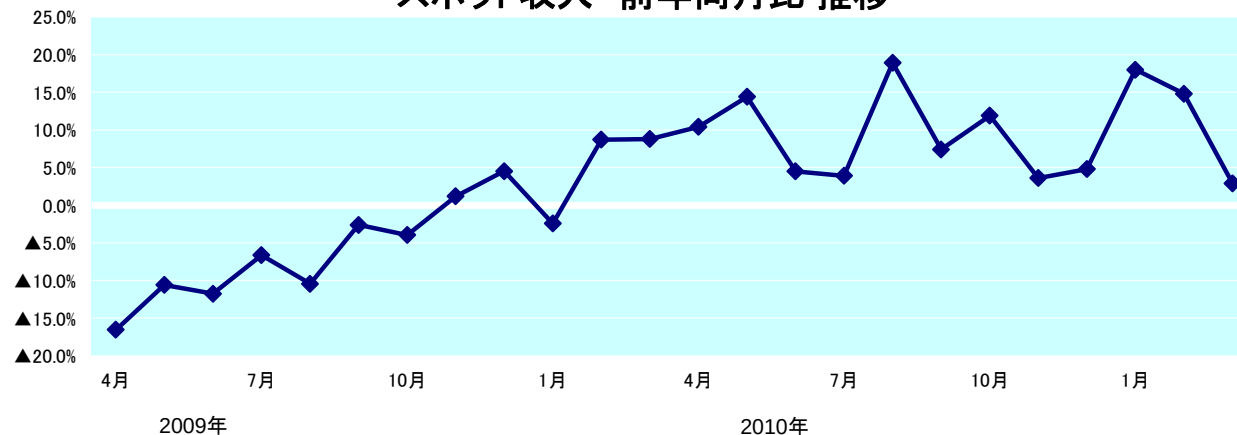
◆ 期初からすべての月で前年を超える

◆ 第4四半期:1月、2月は2桁増、3月は震災報道特番によるCM放送中止等が影響

(単位:百万円)

	2011年 1月～3月	前期比 増減率	2010年度 通期	前期比 増減率
スポット収入	30,077	10.4%	119,370	8.8%

スポット収入 前年同月比 推移



関東地区投下量シェア

	シェア	前期比
2010年度	28.7%	0.0%

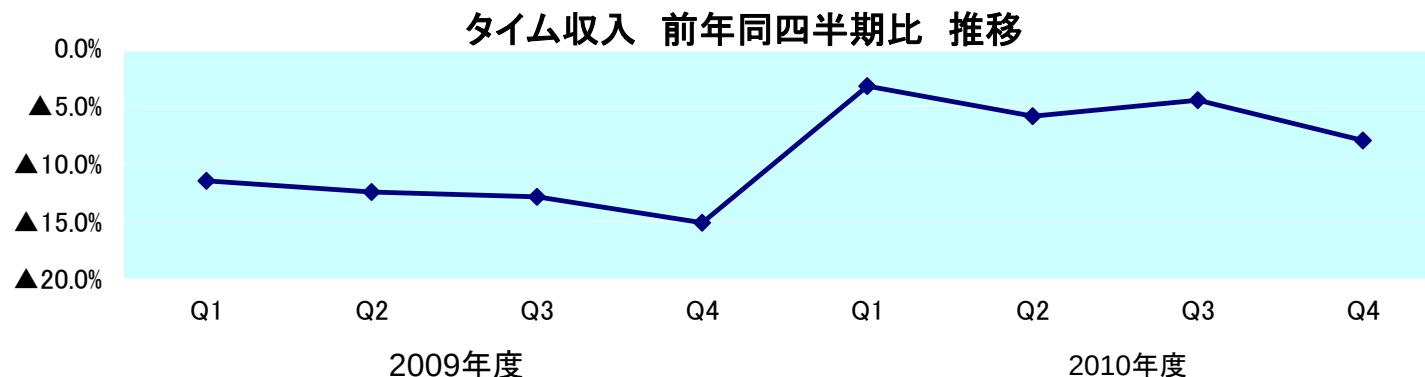
※シェアは推計

■1月、2月はレギュラーベースで着実に減収幅が改善、4月改編セールスも好調

■報道特番編成によるCM放送中止等で3月は前年比2桁の減収

(単位: 百万円)

	2011年 1月～3月	前期比 増減率	2010年度 通期	前期比 増減率
ネット	26,260	▲7.7%	111,939	▲4.8%
ローカル	3,784	▲10.2%	15,500	▲9.5%
タイム収入	30,045	▲8.0%	127,439	▲5.4%



■費用の効率的な運用が浸透し各四半期で前期より削減

■震災では、報道特番を編成した一方、通常番組の休止等もあり費用増はなし

(単位: 億円)

	2010年度	2009年度	増減率
第1四半期	258	270	▲4.4%
第2四半期	241	261	▲7.7%
上期	500	532	▲6.0%
第3四半期	249	260	▲4.3%
第4四半期	235	256	▲8.1%
下期	485	517	▲6.2%
通期	985	1,049	▲6.1%

※自社制作番組及び購入番組の直接費

■7年連続 年度三冠王

2010年度 世帯視聴率 (2010/3/29～2011/4/3)

(出典:ビデオリサーチ)

	フジテレビ	日本テレビ	TBS	テレビ朝日	テレビ東京
G	12.6	12.3	9.7	11.5	6.1
P	12.6	12.4	9.9	12.0	5.8
全日	8.2	8.1	6.5	7.3	2.8

■ 4月改編が成功 新年度も4月 月間三冠でスタート

◆「めざましテレビ」が圧倒的な強さ 全日帯に好影響が波及

◆週末の編成を強化

・「潜入！リアルスコープ」 土曜19時00分～

新感覚・情報バラエティ “大人の社会科見学”

・「爆笑！大日本アカン警察」 日曜19時58分～

司会・ダウンタウン 視聴者参加型の投稿バラエティ

◆今後放送予定の特別番組

・世界体操 2011 10月

・FIVB ワールドカップバレーボール2011 11月

■ その他放送事業

(単位:百万円)

	2010年度	2009年度	増減
その他放送事業収入	31,680	32,352	▲672
番組販売	18,025	18,664	▲638
CS放送・その他	13,654	13,687	▲33

■ その他事業

(単位:百万円)

	2010年度	2009年度	増減
その他事業収入	49,774	50,601	▲826
イベント	12,522	18,061	▲5,539
映画	12,560	7,565	4,995
ビデオ	8,663	9,137	▲473
MD	6,694	7,058	▲363
デジタル	3,923	3,836	87
その他	5,408	4,942	465

■シルク・ドゥ・ソレイユ「KOOZA(クーザ)」

- ◆ 東京公演を7月18日まで開催中
 - ・チケットセールスは好調に推移
 - ・8月4日から大阪公演がスタート
- ◆ 震災後、4月9日より公演を再開
 - ・電力事情に配慮、使用電力を最小限に抑えて実施



■「ワンピースドームツアー」 大好評

- ◆ 東京ドーム（4月27日～5月1日）で12万人を動員
 - ・幅広い年齢層が来場
 - ・場内設備の消費電力は最小限に抑制
- ◆ “史上最大のワンピースイベント” 各地のドームへ
 - ・京セラドーム大阪（3月25日～27日）では9万人動員
 - ・札幌ドーム（6月17日～19日）、福岡Yahoo! JAPANドーム（7月1日～3日）でも開催決定



■フジテレビ映画事業 2010年度 歴代最高の売上を記録

- ◆ 3D作品の「海猿3」、「踊る大捜査線3」など大型作品のヒットがつづき、通期売上125億円
- ◆ 「踊る大捜査線 THE MOVIE3 ヤツらを解放せよ！」 DVD（2011年2月発売）がヒット
DVD&ブルーレイ 計30万枚を超える

■「SP 革命篇」 大ヒット 興行収入 32億円（5月12日現在）

■映画配信事業を拡大

- ◆ フジテレビ On Demand、iTunesに加え、3月から、ひかりTV、J:COMなど主要配信事業者に拡大
- ◆ 「踊る大捜査線」「海猿」「のだめカンタービレ」「라이어ゲーム」など16作品

■2011年春・夏公開 主な作品

プリンセス トヨトミ	5月28日	堤 真一	綾瀬はるか	岡田将生
アンダルシア 女神の報復	6月25日	織田裕二	黒木メイサ	伊藤英明
ロック ～わんこの島～	7月23日	佐藤隆太	麻生久美子	倍賞美津子



■ ビデオ事業

- ◆ 火9ドラマ 「フリーター、家を買う。」「ジョーカー」がヒット
- ◆ 「善徳女王」「華麗なる遺産」など韓流ドラマも引き続き好調
- ◆ 2011年度上期の主な期待作
 - ・「ピンク・レディー in 夜のヒットスタジオ ～フジテレビ秘蔵映像集～」
 - ・「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」
木曜深夜「ノイタミナ」枠アニメの話題作
 - ・「製パン王キム・タック」
韓国で社会現象を引き起こした“見て食べたくなるドラマ” 地上波で放送予定



■ MD事業

- ◆ 「ワンピース」関連商品が引き続き好調、大きく貢献
- ◆ テレビアニメ「チャギントン」シリーズ商品を拡大へ

「チャギントン」
土曜 昼&日曜朝
放送中
オンデマンドでも
配信中



■ 最大の成長分野と位置づけ

◆ フジテレビ On Demandが通期黒字達成、さらなる収益規模拡大へ

◆ 2011年度は配信のラインナップを一層充実

- ・人気アニメ番組も投入へ

◆ ゲーム事業を本格的に展開、収益の柱に

◆ DeNAとの共同開発 「大奥」がヒット

- ・4月14日リリース、4週間で50万人以上が登録

◆ 「あいのり2」約81万人が登録

「ドリーム戦国伝 ～希望の巫女～」もサービス開始

- ・番組との連動で顧客層を拡大

◆ ソーシャルゲームの開発を一層加速

- ・2011年度中に10タイトル以上をリリースへ
- ・スマートフォンへの対応も促進



フジテレビ以外の 主要子会社の業績

□ ニッポン放送(放送事業)

(単位:百万円)

	2010年度	2009年度	増減率
売上高	19,209	20,834	▲7.8%
営業利益	▲181	▲174	—
経常利益	▲247	▲207	—
当期純利益	▲2,403	▲399	—

- ◆引き続きラジオの広告市況は厳しく、放送収入が減収
- ◆震災直後から60時間以上にわたりCMなしの報道特別番組を放送
- ◆固定資産の売却損等により当期純利益の赤字幅が拡大

□ ポニーキャニオン(映像音楽事業)

(単位:百万円)

	2010年度	2009年度	増減率
売上高	54,986	49,759	10.5%
営業利益	2,888	228	—
経常利益	3,075	755	307.2%
当期純利益	1,731	605	185.7%

- ◆「ワンピース」や「けいおん」の大ヒットにより、通期で大幅な増益
- ◆第4四半期は「踊る大捜査線THE MOVIE3」DVDや、aikoベスト盤が貢献

□ ディノス(生活情報事業)

(単位:百万円)

	2010年度	2009年度	増減率
売上高	54,315	57,989	▲6.3%
営業利益	393	376	4.7%
経常利益	397	390	1.7%
当期純利益	330	447	▲26.2%

◆第4四半期は、震災の影響で夏向けカタログが期中に発送できず、テレビ通販も放送を中止したため減収

◆カタログ制作費、発送費、運送物流費を通期にわたり削減

□ セシール(生活情報事業) ※連結

(単位:百万円)

	2010年度	2009年度	増減率
売上高	56,152	59,387	▲5.4%
営業利益	555	201	175.7%
経常利益	651	26	—
当期純利益	310	▲2,111	—

◆消費低迷に加えて、3月は震災の影響でカタログ発行部数が大幅に減少し減収

◆円高のため製品輸入の原価率が改善、カタログ制作費、発送費、物流費を削減

2009年度は7月から連結子会社となったため参考値

決算期変更による15ヶ月決算のうち「09年4月～10年3月」の数字

□ クオラス(広告事業)

(単位:百万円)

	2010年度	2009年度	増減率
売上高	34,512	33,794	2.1%
営業利益	31	▲69	—
経常利益	35	▲78	—
当期純利益	▲297	▲60	—

◆3月は震災の影響を受けたが、テレビや新聞の広告売上が順調で、通期で増収

◆販管費等の削減を進め、営業利益で黒字化を達成

■成長が期待できるBSフジを完全子会社化(4月)

◆視聴可能世帯は3,394万世帯

2011年4月現在 ビデオリサーチ調べ

◆フジテレビとの連携を強化し成長を促進

地上波・BS・CSの3波体制でコンテンツを有効活用

BSフジ 業績推移

(百万円)

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
売上高	4,960	5,673	6,379	7,477
営業利益	367	521	352	908



BSフジ LIVE プライムニュース

月曜～金曜 20時～21時55分放送

その他

(単位: 億円)

設備投資計画		2010年度 通期 (実績)	2011年度 通期 (予定)	2012年度 通期 (予定)
設備投資額	連結	135	126	126
	フジテレビ	104	83	86
	フジ・メディアHD	0	2	4
減価償却費	連結	227	219	199
	フジテレビ	145	136	126
	フジ・メディアHD	47	47	37

- 2010年度の期末配当金は、2月3日発表から引き上げ
- 2011年度は、引き続き、連結ベースの目標配当性向40%、
および年額1,600円を年間配当金の下限として設定

(単位:円)

	中間期	期末	年間
2011年度予想	800	800	1,600
2010年度	800	1,000	1,800
2月3日発表 2010年度予想	800	800	1,600
2009年度	800	800	1,600

末尾ながら、東日本大震災で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに
一日も早い復興をお祈り申し上げます。

P.18 : Costumes:Marie-Chantale Vaillancourt © 2010,2011 Fuji Television

P.18 : ©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション

P.19 : ©2011 フジテレビジョン、東宝、電通、ポニーキャニオン、日本映画衛星放送、アイ・エヌ・ピー、FNS27社

P.20 : ©Ludorum plc 2011 Chuggington(R) is a registered trade mark of Ludorum plc

P.21 : ©フジテレビジョン・東映 © DeNA

P.21 : ©フジテレビジョン/サイバーエージェント/CyberX